

モデル名称	ADMER ver2.5.0		
開発国	日本	開発機関 開発者	独立行政法人産業技術総合研究所化学 物質リスク管理研究センター
入手方法 (URL・価格等)	WEBから入手可(無料) http://www.aist-riss.jp/software/admer/ja/index_ja.html		
モデルの 目的概要	東京都や大阪府といった比較的高範囲での長期的な濃度分布の推定をおこなうことを目的としている。PRTR情報などの活用によりVOCなどの大気系化学物質のリスク評価を行なうことができる。		
長所 ・ 有効性	5×5Kmのグリッドからさらに細かいグリッドで解析可能(サブグリッド機能)		
短所 ・ 活用限界	広域での濃度評価を目的としているため高さ方向を考慮していない。		
参考文献 (文献・URL等)	1. ADMER Version2.5操作マニュアル http://www.aist-riss.jp/software/admer/download/ja/ADMER2_5_HELP.pdf		